



平成 18 年 7 月 1 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所 2 号機の調整運転の停止について (脱気器タンク水位制御弁の不調)

敦賀発電所 2 号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力 116 万キロワット）は、第 15 回定期検査中（平成 18 年 4 月 23 日～）であり、6 月 30 日に調整運転を開始し、電気出力 50% に向けて出力上昇操作を行っていたところ、6 月 30 日 23 時 18 分頃（電気出力約 28%）、2 次系にある脱気器タンクの水位を制御する（復水流量を調整する）脱気器タンク水位制御弁※の開度が安定しない事象が認められました。

このため、出力上昇操作を中断し当該弁の外観点検等を行い、異常が認められなかったことから、7 月 1 日 10 時に出力上昇操作を再開しました。

しかし、出力上昇操作に伴い徐々に開くべき当該弁が開動作しない事象が認められたため、12 時 15 分に出力上昇操作（電気出力約 33%）を中断し、12 時 18 分に電気出力を約 20% に降下させました。

当該弁の不調の原因等について詳細に調査するため、本日 17 時頃から出力降下し、21 時 30 分頃に原子炉を停止することとしました。

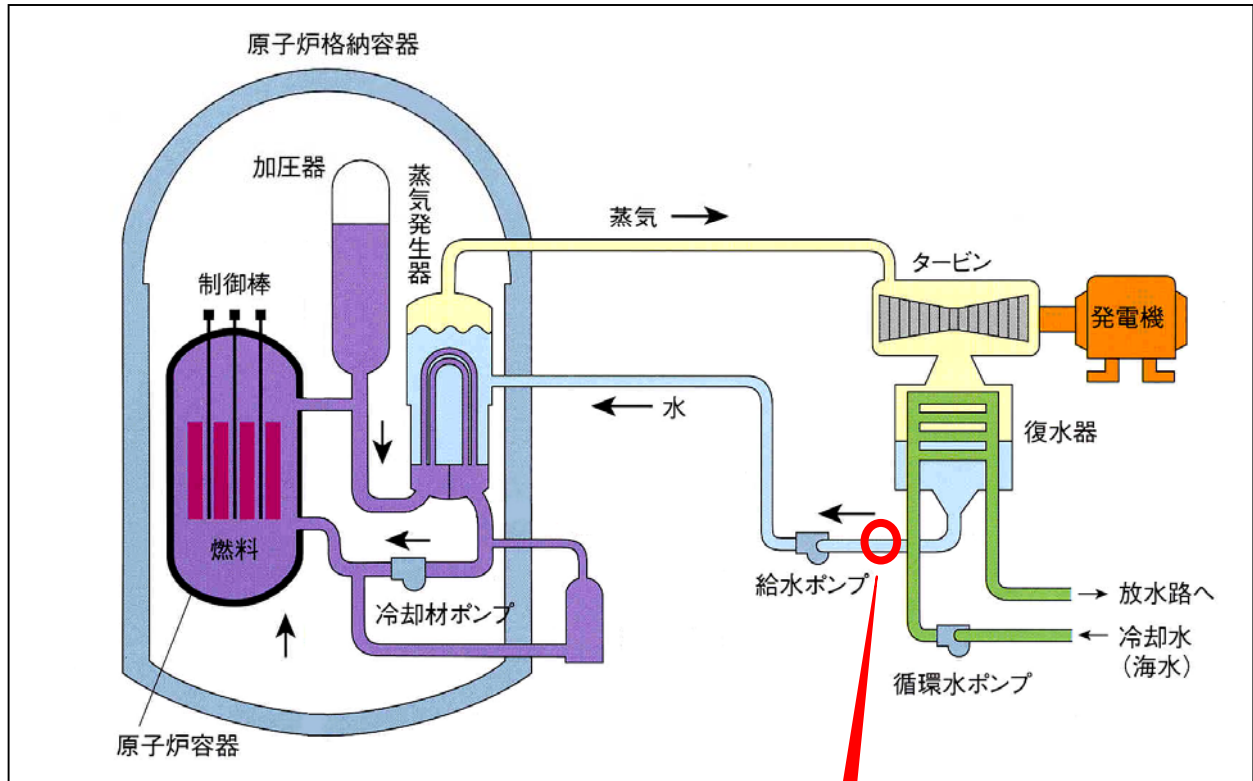
なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

※脱気器タンクの水位は、脱気器タンク水位バイパス制御弁（小型の弁）と脱気器タンク水位制御弁（大型の弁）の 2 弁により制御される。電気出力約 28% 以上では脱気器タンク水位制御弁にて制御される。

以 上

添付資料：脱気器タンク水位制御弁概略図

脱気器タンク水位制御弁概略図



系統概略図（当該部）

